



1 ソーシャルネットワークサービス（以下 SNS）の学思

中高生へのスマートフォンやタブレットの普及により、SNS 利用も瞬く間に拡大しました。その結果増えているのが SNS トラブルです。金銭的な損失や人権侵害、場合によっては暴力といった身の危険など、ワンクリックが発展して大きな代償を払うことになるケースも少なくありません。本校でもネチケットに反した書き込みや画像投稿で、人間関係トラブルやプライバシーの侵害などが起きています。

SNS はどのような性質や特徴を持ち、どのように使われ、どのような情報を私たちに伝えてくれるのでしょうか。正しい知識を身につけてトラブルに逢わない、トラブルを起こさないようにしましょう。

はじめに SNS 利用者の賛成・反対意見を紹介します。

【賛成意見】

- ・長い間連絡の取れなかった友人や知人と思わぬ再会ができたり、近況を知ることができたり、昔の人間関係の距離が一気に縮まります。
- ・立場の違う人や、知らない分野の人達と知り合っ様々な議論ができたり、ためになるような情報を手に入れることができたり、友人になれたりします。
- ・私は Facebook と Twitter をやっていますが、前者はプライベートな仲間に、後者はクラスやサークルの仲間に、といった具合に使い分けて効果的に情報をやりとりしています。

【反対意見】

- ・SNS という性質上一番問題になるのが個人情報の流出や、情報の悪用です。
- ・気軽に友達と話すような感覚で話していると、それが批判や中傷に繋がり、いろんな人から同じように批判や中傷を受けてしまうこともあります。
- ・つぶやきを友達に誤解されて仲間はずれになり、いまでも修復できない。
- ・多くの人と繋がることが目的になって、根拠のない噂、過激な表現、誹謗中傷が書き込まれています。
- ・「個人の利益」を優先して気軽に投稿したことが、「公共の利益」や他者の「個人の利益」を侵害してしまう。
- ・気軽なコミュニケーションとして活用していた SNS が、実際の人間関係が反映されてくると、ネット上でも気を使い、人間関係がわずらわしく感じます。
- ・みんながコミュニケーションツールに頼りきってしまって、SNS をやっていないとかやの外になってしまう可能性があります。
- ・いつでもどこでも誰かと関わりを持つことで、常に監視されていて縛られているというように感じ、それがストレスになってしまう。
- ・誰かが何かを発信する度に反応をしなくてはならず、自分の時間がなくなる。

スマホの進化に中高生は大人よりも詳しく慣れていますが、スマホの利用時間や SNS 滞在時間が長く、法律やセキュリティに対しては無知・無防備です。そんな中高生の「SNS 上でよくあるトラブル」をご紹介します。



その1 見知らぬ人との出会い

ゲームやアイドル、声優などが好きな人が、もっと新しく、もっと深い情報をファンサイトや、不特定多数のファンたちが発信する SNS の投稿へたどり着くことがあります。そこで親切にいろいろなことを教えてくれる人と共通の話題で盛り上がるのですが、やがて個人的な会話から「一度会って話そうよ」と話が発展…。

アイコンと書き方の調子から同世代と思っていたら、全く違う年代だった、住んでいる地域も違った、性別まで違った。中高生と知り合う目的のために身分を騙る悪意ある大人も多く、SNS 上で見たまま読んだままで相手を判断してはいけません。知らない相手には距離を保ち、オンライン上での付き合いのみとするのが基本です。

その2 仕組まれた巧妙な罠

投稿に仕込まれたリンクで、友だちが「こんな無料のお得サービスがあるよ!」と共有してきた、ゲームや音楽、画像などの無料ダウンロードサイト。ところが、そもそもそういった場所で公開されているコンテンツは、著作権を侵害する違法コピーや海賊版であることが多く、ダウンロードする側にも法的な責任が問われます。

また、無料ダウンロードしたソフトウェアにウイルスが仕込まれ、スマホ内の個人情報を抜かれたり、異常な数の迷惑メールが来てメールボックスがパンクしたり、スマホがロックされ解除するためにはお金を振り込めと脅迫するメッセージが出てくることもあります。これは、子どもの「悪いことをしてしまった」という罪の意識を利用して、親には内緒で振り込ませるために、ちょうど子どもが払えるギリギリの額に設定されているなど、手の込んだ詐欺なのです。

その3 リベンジポルノとバイトテロ

付き合っている彼氏・彼女にお願いされ、非公開だから大丈夫かなと思い、自分の画像を送信したら、世界中で見られるようになっていたり、振られた腹いせに相手がリベンジとして画像を公開したりといったトラブルも多発しています。アルバイト先での勤務中のいたずら画像を SNS に投稿し、飲食企業の倒産や本人が特定されて解雇・退学などが問題視されたこともありました。自分がネット上に載せた情報は、その時点で広く世界へ発信されています。いたずらやノリで不適切な投稿をしたことへの代償を一生かけて支払うことになります。

その4 個人情報の流出や著作権侵害

匿名のアカウントで使っている SNS であっても、気をつけなければ個人情報を垂れ流してしまうことになります。たとえば、制服姿の一部、校舎・教室、行事の様子、通学途中の風景、近所の景色など、本人は大丈夫と思った投稿や画像も、数が多くなり判断材料が増えれば、その人の在籍校や居住地域が特定でき、本人の特定も簡単にできるようになります。ネット上に「個人情報につながるもの」を提供することで、悪意を持った人が調べ上げて個人情報をネット上で晒す、といったことも実際に起きています。きちんとセキュリティの保護壁を作った上で、画像投稿では互いに了解を得るなどのルールやマナーを守って楽しみたいものですね。

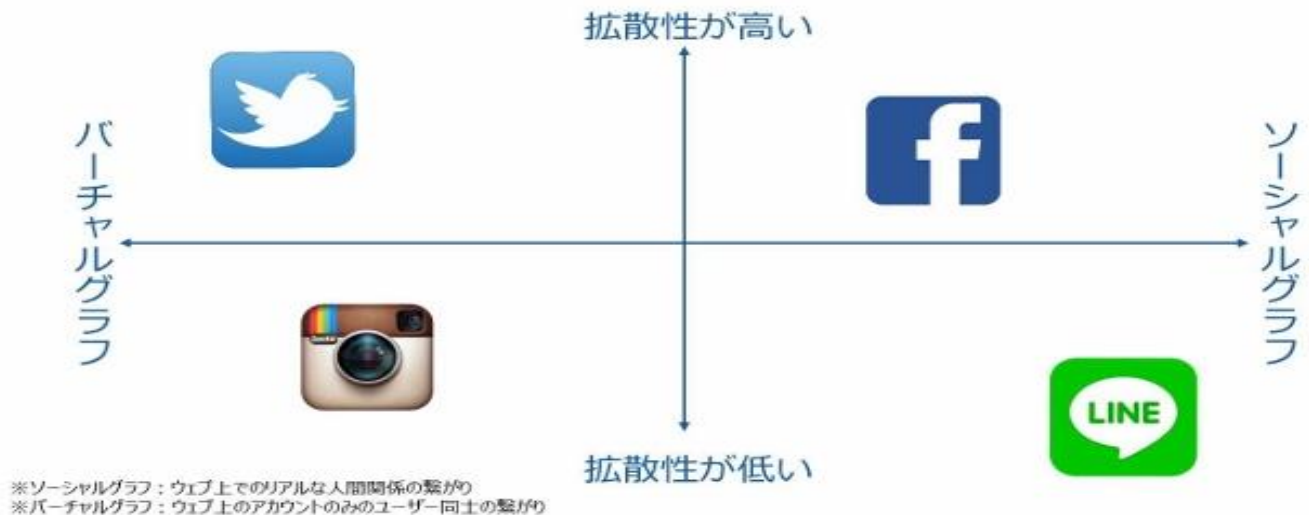
音楽や出版物の投稿など著作権侵害を常に監視して作成者に侵害情報を通報して礼金をもらうグループがあり、作成者が投稿者や所属する学校・大学・企業に対して損害賠償訴訟を起こすケースがあります。

その5 思いは親友だけに

女子生徒が LINE 上に書き込んだ部活動についての愚痴を、他の部員が転載したことで、LINE 外だけでなく、学校の中で勝手にスマホを操作される、カバン内のノートや教科書に落書きをされる、私物を隠されるなどのイジメへとエスカレートしていった。女子生徒は部活動に行けなくなり、学校にも行きづらくなった。

ネット上の言葉だけでは発信者の意図や思いの強弱が伝わらないため、言葉を否定的に受けとめた読み手が批判や非難をして拡散すると、発信者は修正も削除もできないままりアルな人間関係が崩壊してしまいます。誰かに伝えたい素直な感情は、信頼できる親友に直接話をして伝えましょう。

最後に主なSNSの特徴を紹介します。



Facebook

毎日国内の1600万人が活用している巨大メディアです。実名登録で信頼性が高く、他のSNSよりも30代～40代以上の利用も多いことから、幅広くビジネスツールとして活用されています。

<どんな人とつながっている？>

親しい友人はもちろんのこと、昔の知り合いや友達の友達といったちょっと縁遠い人もつなげてくれるツールとして重宝されています。アカウントは基本的に実名登録であり、そのネットワークは面識のある人やその友人に限られたものが多いため、リアルな人間関係を補完、強化してくれるものと言えます。

<どんな情報がやりとりされている？>

やり取りされる投稿は基本的に、リアルな友人関係に見せることを前提として書かれています。近況報告、学校の話、旅行やイベントの写真をアップするユーザもいれば、会合やイベントの告知に利用するユーザもいます。またニュース記事を引用して問題提起をするユーザも見受けられます。

<ここに気をつけたい>

リアルな人間関係をベースにしているため、個人の指向や思想に影響を受けやすい傾向もあります。「仲の良いあの人が言っているのなら正しいのだろう」ではなく、あくまで数ある意見のうちのひとつであることを認識しながら読んでいく必要があるでしょう。また、他のSNSと関連させて個人情報を流出させているケースが多いSNSです。

Twitter

140字の短文投稿メディアで、リアルタイム性が高いことと、10代～20代の若年層の利用が多いことが特徴です。気に入った投稿や他の人に教えたい情報をワンタッチで転載できる機能により拡散力が非常に高いメディアです。匿名での利用が多いため、率直な意見交換も多く行われますが、集中的に批判される「炎上」も多く発生してしまうので注意が必要です。

<どんな人とつながっている？>

リアルな知り合いに加え、同じ趣味や嗜好を持つユーザを気軽にフォロー（自分のTwitter画面に表示させる）していく傾向があります。フォロワーの多さを競う性質もあり、フォローバックしてほしいからフォローする、といったやり方で数を増やすユーザも見られます。

<どんな情報がやりとりされている？>

投稿文字数は基本140文字と少なく、Twitterの意味通り「つぶやき」に焦点がおかれていることから、何気なくふと思ったことを手軽に投稿する傾向にあります。「いま発信したい・いま書きたい」という願望を満たす

ツールです。その手軽さゆえ、たとえばニュースや事件に関する問題提起や、できるだけ多くの人に知ってほしい情報が速く、かつ広範囲に拡散します。

<ここに気をつけたい>

リツイートという拡散機能が広く使われていることから、思わぬ大騒動に発展しやすいのも特徴です。一時期、自らの奇行（コンビニの冷蔵庫に入ったり、購入前の商品に手をつけたり）を拡散され、バイト先店舗の廃業、威力業務妨害で逮捕、個人情報を探られて退学に追い込まれるという騒動が多発しました。こうした背景には Twitter の拡散力や匿名性のほかに「つぶやく」ことで内容を吟味せず、即時に投稿してしまう点があります。無責任な投稿をするユーザも多いので、その内容が真実なのか、公平性に基づいたものであるか、などを見極める必要があります。匿名であるため一人で複数のアカウントをとって、複数の人格を装って情報を操作している可能性もあります。人権侵害にあたる投稿を見極めないでリツイートしてしまったことで、法的責任を問われたケースもあります。

LINE

LINE はその驚異的な利用率の高さから、今や国内最強のメッセージングアプリといえます。アクティブユーザ 1 日 3600 万人と言われ、日常的連絡手段として利用しているユーザが多く、即効性が高いツールです。

<どんな人とつながっている？>

普段一緒に過ごしている職場や学校の仲間と、直接会っていないときにも実際に会話しているようにやりとりできる。また、同時に大人数で実際に会話しているようなやりとりをリアルタイムでできる。やりとりしている仲間と携帯電話内のアドレス帳登録者とを自動的につなげる機能があり、解除していない場合は直接面識のない人と勝手につながってしまいます。

<どんな情報がやりとりされている？>

メールや通話、テレビ通話、画像投稿などが無料でできる。



<ここに気をつけたい>

既読機能により、メッセージが相手に届いたかを確認でき、会話のようなコミュニケーションが生まれる。一方で、すぐに「既読」や返信がないと不安になり、昼夜を問わずトークを続けてしまう。また、友人を招待したり、簡単な操作で退会させられたりする機能があるため、仲間はずれやいじめにつながる。

Instagram

「画像をコミュニケーションの中心としたツール」で、手軽に投稿が可能なおうえ、写真をおしゃれに加工することも容易です。10~30 代の女性ユーザが中心で、投稿や閲覧が日常の一部となっているユーザも多い。

<どんな人とつながっている？>

つながりの深い友人だけがフォロワーとなる傾向があります。ユーザ自身が拡散を望まない限りは拡散されにくく、他の SNS と比べるとややクローズドな SNS と言えます。

<どんな情報がやりとりされている？>

文字ではなく写真がメインであり、ファッション・食事・景色・家族の写真などがよく投稿されます。写真の持つ力を活かし、他の SNS よりも即効性やキャッチーさに優れています。ファッションやトレンドに敏感なユーザやカメラ好きなユーザも好んで利用する傾向にあります。

<ここに気をつけたい>

投稿される内容は基本的に明るくポップなものが多く、トラブルが比較的少ない SNS と言えます。ただし、Twitter と連動させて利用する人が多いため、その場合はオープンな SNS に早変わりします。仲の良い友人だけへのプライベートな公開のつもりでも、SNS への画像投稿には常に「流出」の可能性があります。